



日常生活の いろいろ

臼井幼稚園

朝登園した順に、 昼休み、 帰りのバス待ちには 園庭遊び。

天気の良い日はなるべく園庭で自由に遊びます。
芝生の園庭は気持ちよく、怪我也少ないのです。

保育活動中に、自由遊びはしません。

hi



表現遊び

幼稚園で過ごす毎日で、
自分を表現することを恐れない
子どもに育てたい。

身体表現遊び

- リズム・バリエーション
きらきら星に合わせて、歩く、走る、スキップ、ギャロップなどのステップを経験することにより、色々な音楽に合わせたステップを踏めるようになります。
- クリエイティブ・ムーブメント
身体を使った表現。一人ひとりが違う表現を求められ、教員は一人ひとりの違いを認めて褒める機会にもなります。
独自性、創造性、社会性も育める活動。





造形

壁面づくり

幼稚園は子ども達のもの、という考え方から、教室を飾る壁面などはすべて子ども達による手作りのもの。

造形遊び

ダンボールや箱、ひも、リボン、セロテープ、牛乳パックなど、素材を使って自由に遊びます。
木工遊び。木材をノコギリで切り、釘を打って好きなものを作ります。

描画

年齢に合わせて、絵の具、コンテ、クレパス、墨などを使って、絵を描きます。

年長で年間20枚ほど。



教師は、道具の使い方、運び方など
基本的なルールと、危ない使い方はしないなど
の指導だけはして、あとは子ども達の自由な
遊びを尊重します。



絵手紙

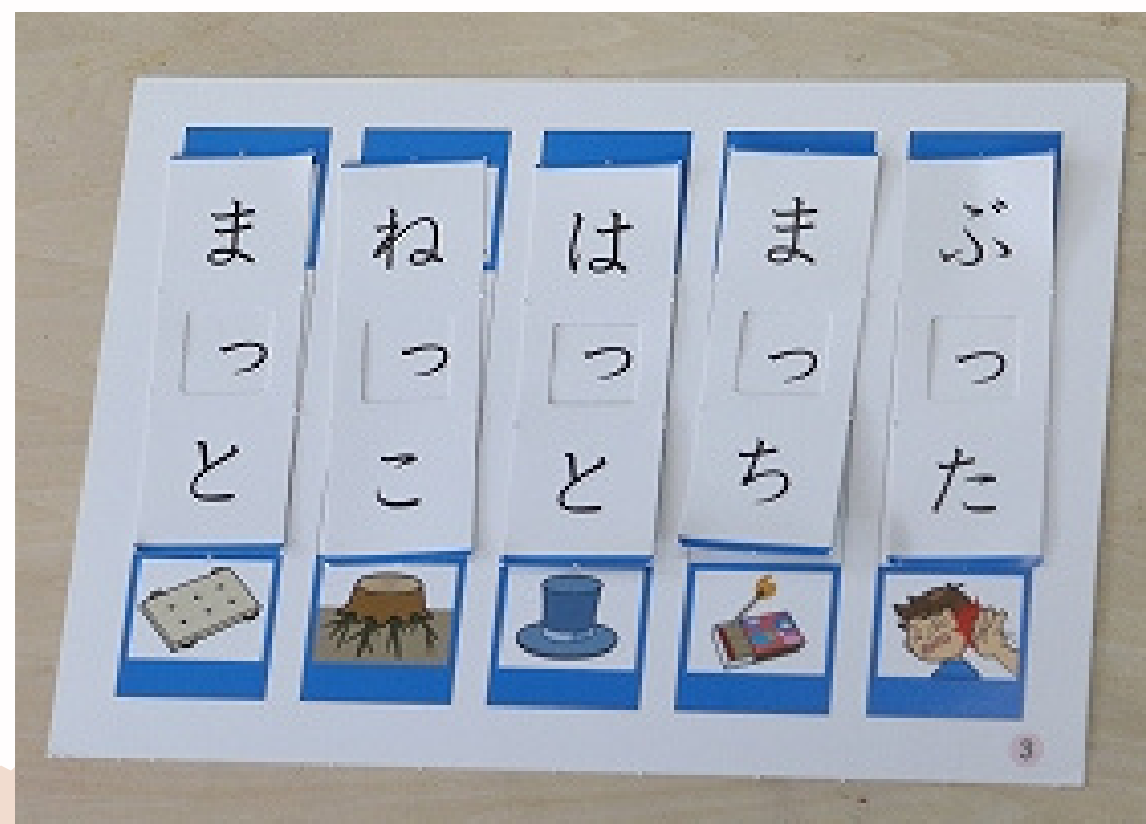
子どもが絵で気持ちを伝える活動。
子どもと教師のコミュニケーション手段。
特に言葉が未熟な、低年齢の子ども達と
絵を通して会話して、その子の思いを知る
良い機会となります。



もじ、ことば遊び

(年中・年長)

早期教育が目的ではなく、文字と言葉に興味を持ち、
小学校へ行く時に、子ども達が劣等感を持たないで
いられるように。



かず

(年中・年長)

「数の概念」の獲得を通して、子ども達に
“論理的な思考”が身に付くように



教材について

これまでの教育は、教えて正解を導き出すものが主でしたが、間違いを自らの手で修正して得た正解こそ、正しい正解につながるその真理をピアジェは発見しました。

臼井幼稚園で使用している教材は、個人持ちの教材を使いながら、二人組やグループ単位でゲームのように遊んで、子ども同士で学べるような指導方法にしています。保育者が一方的に教えるよりも、子ども同士の方が、より深く理解できます。またゲーム形式にすることで繰り返し同じ操作をしても、活動動機は失われず、何度でもしようとしています。遊びながら学ぶ、を文字通り実践できるのです。

臼井幼稚園で使用している教材
幼年教育出版《はじめてのかず・ことば》



絵カード

絵カードを使った遊びです。
小さい子どもには、視覚化された絵カードは
扱いやすいものです。子どもが獲得している
ことばを整理、展開するための遊びを
年齢に合わせて行ないます。

ゲーム形式にして、チーム対抗にしたり、
参観日の親子ゲームにも使います。

絵カード；すずき出版

音楽

特別に歌の指導の時間はなくて、日常保育に溶け込んでいます。

楽器は満三歳児のクラスの時からカスタネットを使い、年少からザイロホンという木琴に似た楽器で遊びます。

音楽の指導は、やり方によっては技術指導に走り、子ども達から楽しさを奪います。音楽嫌いは幼児時代にはいないはずなので、ザイロホンの指導は、楽しく、またやりたい！という遊びの続きにあります。

リズム打ち（ボディパーカッション）は教師の代わりに子ども達が行なうことも。





体育

転んでもちゃんと手を付ける子どもに育って欲しい、臼井幼稚園の体育は、そんな思いがあります。

外部講師の指導を受けている幼稚園が多いようですが、臼井幼稚園には体育の先生がいます。だから昼休みやちょっとした時間に遊んでくれ、当然、幼稚園の子ども達全員をよく知ってくれているし、子ども達がいつもまわりついています。

幼児教育は、人間教育です。子どもの心を見失って、結果を求めると、子どもの心はいつしかしぼんでいってしまいます。



こんなことも。

役員制度がありません。
SOSの募集でお手伝いをお願いするから、
SOSは応募殺到の争奪戦！

臨床心理士の子育て相談室があります。



令和3年度は、続くコロナ禍ではありましたが、保育は普段通り行ないました。
参観の仕方が変わりましたが、徐々に普通通りに戻しています。

私達の子ども達への思いは、何も変わりません。むしろ、こんな時だからこそ、
子ども達が強く、生き抜く力を身につけられるように、幼児教育に携わる
私たちにできることがあるのではないかと信じています。

臼井幼稚園は、毎日写真をHPでアップしています。言葉の足りない子ども達の代わりにな
るといいな、と思っています。写真を見ながら「このお友達はだれ?」「何を作ったの?」
などの会話を家庭で持って頂けたら、との思いもあります。

一緒に、子どもを育てましょう。

臼井幼稚園